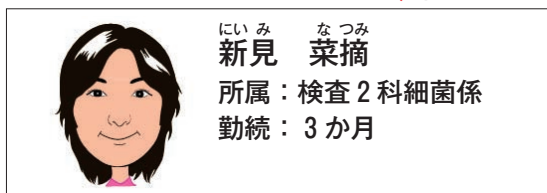


復活版 今月の笑顔

平成22年12月号に最終回を迎えたこの職員紹介コーナーが一時復活しました！ 復活版では、平成26年度に当検査センターに入職した新入職員4名をご紹介します。ここに登場した職員から、当検査センターの横顔が少しでも垣間見えたなら何よりです。

♥ 新人1人目



私がここに決めた理由

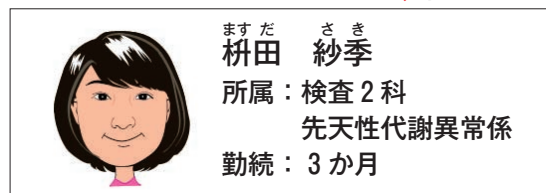
私は今年4月より細菌係に配属となり、早くも3か月あまりが過ぎました。

私が就職先を臨床検査センターに決めた理由は、学生の時、検査センターを見学させていただいたことがきっかけとなっています。その際、検査センターの職員の方は各々が臨床検査技師としてのプライドを持って業務にあたられており、「先生方に信頼していただける検査センター」を皆さんで築かれているように感じました。また、研修会にも積極的に参加されていると知り、検査技師としてスキルアップする環境が整っていると思い就職試験を受けました。

細菌検査はほとんどが手作業ですので、一つ一つの作業を正確に行うことを意識しています。まだまだ分からないことが多く、先輩方に手ほどきを受けながら業務にあたっています。先輩方は知識が豊富で作業にも無駄がなく、本当にすごいと感じています。

私も先輩方のような検査技師になりたいよう、より一層努力してゆきたいと思っています。

♥ 新人2人目



外の世界とつながっている

まさか自分が県下唯一の先天性代謝異常症等の検査室に配属されるとは思いませんでした。その児の人生をも左右してしまう病気を見つける検査。だから絶対に見逃しは許されない。とてもやりがいのある仕事だと思っています。

毎日緊張感を持って検査をしています。わからないことがあれば、とにかく先輩方に相談して、話をよく聴くようにしています。重要なことはメモし、以後同じ質問を繰り返さないようにしています。

入職して3か月が経ち、まずは「ガラクトース血症」「クレチン症」「副腎過形成症」の3つの検査が完璧にできることを目指しています。

実は私には、検査センターって閉鎖された空間というイメージがあったのですが、集配さんや営業さんを見て、外の世界とつながっていることを実感しました。検査結果を待っている患者さんやご家族がいる、そのことを忘れず、これからも検査技師として頑張っていくつもりです。

*次号も引き続き、残る新入職員2名の“笑顔”をお届けいたします。